

平成19年度第3回新技術活用評価会議_審議案件 技術概要及び審議結果一覧

審議区分	技術名称	NETIS 登録番号	NETIS申請者 (技術開発者)	技術概要(NETISより抜粋)		評価会議 審議結果概要
				技術分類	何について何をやる技術なのか?	
有用な 新技術の 選考	万能土質改良機による建設発生土再利用システム	KK-980012-V	株式会社 コトー	土工 土工 残土処理工	土質性状の異なる2種類あるいは3種類の建設発生土等を組合わせ、粒度改良や含水比改善を行うことにより、要求品質基準を満足する盛土材料を製造する物理的混合処理技術	平成20年度活用促進技術に指定
事後評価	3次元情報と α システムによる情報化施工	KT-050054-V	株式会社 大林組	土工 施工管理 品質管理	3次元CADデータベースと振動ローラ加速度応答を利用した土工事施工管理技術	<p>試行条件においては、申請内容と同程度であることが確認された。</p> <p>技術としての有効性が認められる事から、引き続き活用を進め、本技術による取得データと締固め密度の相関の向上を図ることが望ましいと考えられる。</p> <p>ただし、本工事における品質管理は従来技術により行っているため、活用効果評価は行っていない。</p>
試行計画	ウォールブロック工法	QS-040024-V	株式会社 JSP	土工 軽量盛土工 超軽量盛土	EPS軽量盛土工法での発泡スチロール保護用の壁体(壁面材)を安く、早く、簡単に作ることができる新しい保護壁面材付き軽量盛土工法	<p>試行計画に基づき現場で試行してよい。</p> <p>試行現場： 利根川橋右岸舗装改良工事 (関東地方整備局 宇都宮国道事務所発注工事)</p>

※各技術の詳細情報は、新技術情報提供システム[NETIS]で提供しています。

NETISアドレス：<http://www.mlit.go.jp/netis/>